

うるおい だいち 4. 潤いの大地



DATA

撮影者 津崎 佳治
撮影地 大分市大字今市石合

【撮影者コメント】

みどり豊かな野津原。国道442号を車で走らせると、間もなく完成するであろう大分川ダムを見渡せる。さらに進むと、周囲には斜面を切り開いた棚田がいたるところに見られる。先人たちがそれぞれの土地に汗を流して築き上げた「潤いの大地」が人々の暮らしの中に今も残っている。

水をはった田んぼ、黄金に輝く稲穂と、四季折々に移り変わる日本の原風景をここで見ることで、心が癒される。このすばらしさを残したいと、早朝夕方と出掛けては写真に収めた一コマである。

国道沿いを少し登ったところに、樹齢1200年、高さ40メートルに及ぶ県指定の特別保護樹木であるトチの木がそびえる高岩神社がある。ここからの棚田の景観は格別である。

田植えも終え、夜明けとともに鳴き合う鶏の声、水をいっぱい満たし、朝の光を満面に浴びた田んぼは、恵みの約束の姿である。

MAP

